

令和4(2022)年度 栃木県立宇都宮南高等学校 学校評価に関するアンケート結果報告

Ⅰ はじめに

本校の教育活動改善に資する資料とするため、全校生徒926名と保護者を対象に10月19日(水)から11月7日(月)にかけて「学校評価に関するアンケート」を実施しました。昨年度と同様、多くの保護者の皆様からご回答を頂き、ありがとうございました。自由記述のご意見も多数お寄せ頂き保護者の皆様の本校の教育活動への関心と期待の高さをあらためて認識いたしました。ご要望も多数寄せられましたが、さらなる改善に向け可能な限り取り組んでまいりますので、今後とも本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りたく存じます。

アンケートの回答状況については次のとおりです。

回答数	生 徒	848 名(1年: 265 名 2年: 294 名 3年: 289 名)
	保護者	847 名(1年: 292 名 2年: 281 名 3年: 274 名)
提出率	生 徒	92 %
	保護者	92 %

アンケート結果の分析は、次の点に留意しました。

- ① 回答項目のすべての回答状況をグラフ化し、特徴的なことを付記しました。
- ② 「生徒」「保護者」に共通する質問項目については、質問項目を領域ごとにA「学校のイメージ」、B「学習」、C「進路」、D「生活指導」、E「学校行事・部活動」、F「環境・施設」に分類し、両者のデータを並べて掲載し
- ③ 「生徒」「保護者」いずれかのみを対象とした質問項目については、個別に掲載しました。

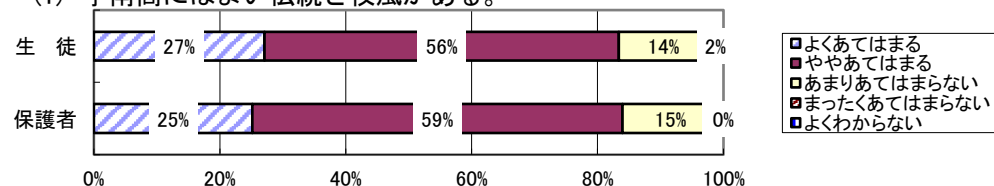
Ⅱ アンケート結果概要

注:「よくわからない」という回答選択肢は、保護者対象のアンケートにのみ設けました。また、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせて肯定的な評価とし、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせて否定的な評価とし、各質問項目の回答状況を分析しています。

(1) 生徒・保護者共通質問項目

A 学校のイメージについて

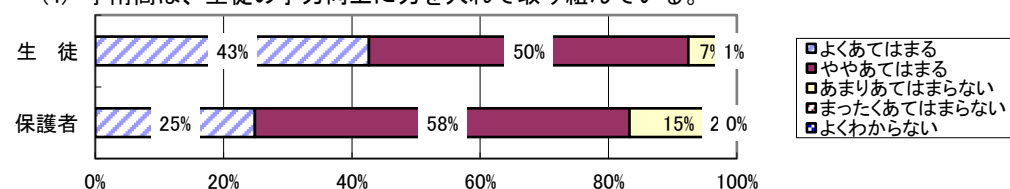
(1) 宇南高にはよい伝統と校風がある。



肯定的評価については、生徒は昨年度とほぼ同様の結果だが、保護者の回答では昨年度の73%から84%へ上昇した。新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、本年度は3年ぶりに授業参観等を限定的ながら実施できたことや、部活動の成果が本校ホームページやメディアを通じ活発に発信されたことなどが主な要因と思われる。今後も引き続き十分な感染防止対策を講じた上で、地域に開かれた学校づくりに努力する必要がある。

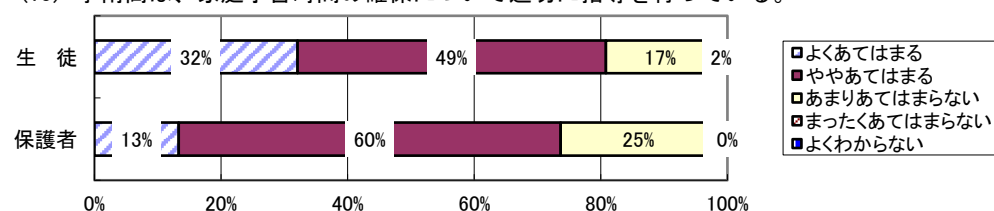
B 学習について

(4) 宇南高は、生徒の学力向上に力を入れて取り組んでいる。



生徒の肯定的評価は高水準にある。保護者も同様の評価で、割合も肯定的評価は8割台を回復した。このことはここ数年の学力向上への取組が浸透してきた成果であると思われる。一方で、否定的な評価も17%にのぼることから、引き続き授業を中心に課外や土曜開放(特別講座)も含めて学力向上に向けた取組を維持、改善する必要がある。

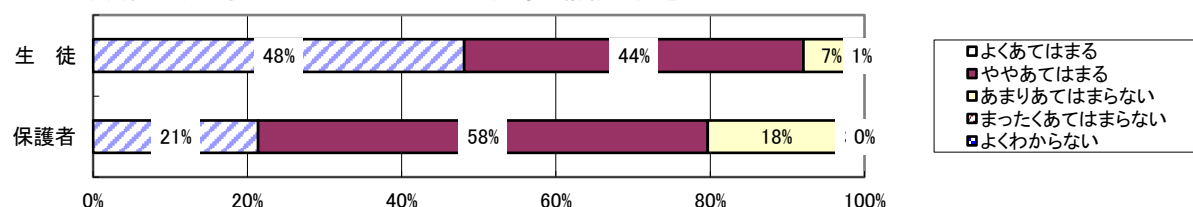
(13) 宇南高は、家庭学習時間の確保について適切に指導を行っている。



8割の生徒が家庭学習時間の確保について適切な指導を受けていると回答しているが、2割の生徒が否定的な評価をしており、この値は昨年度と変わらない。保護者の評価は昨年に比べ改善傾向にあるものの、4人に1人は本校の学習指導に不満ないし物足りなさを感じている。家庭での学習時間確保は、本校の重点教育目標である「確かな学力を育成する」上で重要な方策である。今後も家庭学習習慣の定着に向け、保護者と連携を図り効果的な指導に努める必要がある。

C 進路について

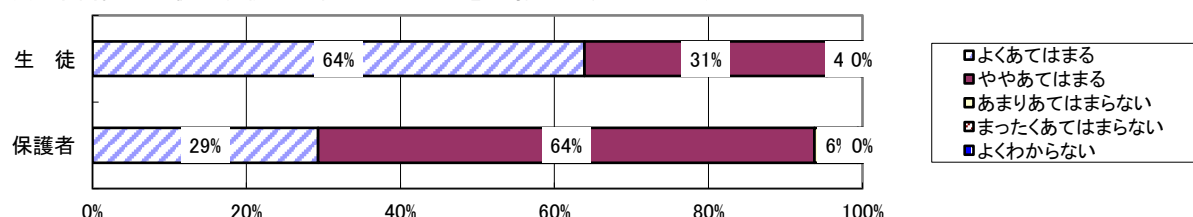
(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている。



生徒の評価では、「よくあてはまる」という回答の割合が昨年度から7%低下した。保護者については、肯定的評価は昨年度比で微増したものの、「よくあてはまる」との回答割合は1%減、否定的評価は20% (172人) に達している。このことから、本校の進路指導と進路情報の提供のあり方について改めて改善と充実に向けた方策を打ち出し、生徒はもちろん、保護者も納得のいく進路実現につなげることが本校の最優先とすべき課題である。

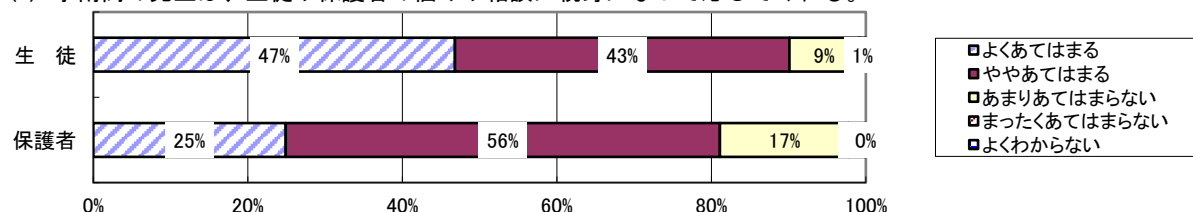
D 生活指導について

(6) 宇南高の生徒は、校則や社会のルールを理解し行動している。



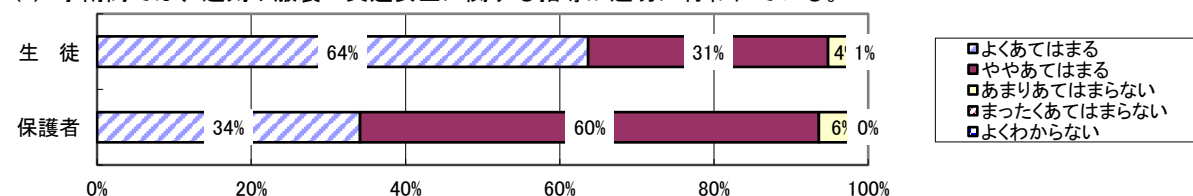
良好な回答状況からは、本校生の高い規範意識が見て取れる。保護者の肯定的評価も概ね同様の傾向にある。昨年度17%あった保護者の否定的評価が、本年度は6%に下がり改善傾向を示した。今後とも保護者のみならず、地域社会の方々からも評価される教育活動の質の向上に努力していかなくてはならない。

(7) 宇南高の先生は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じてくれる。



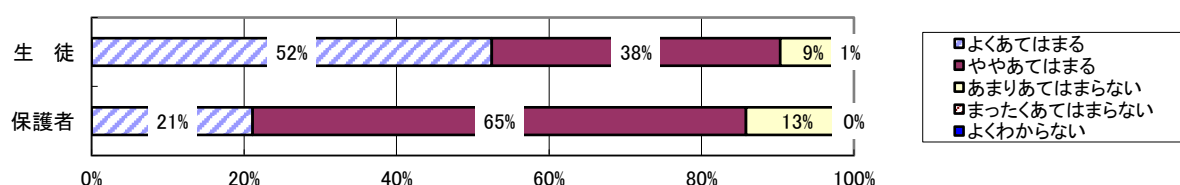
この質問では、昨年に比べ生徒・保護者とも数字に大きな変化はない。今回も全体の2割近い保護者が否定的な評価をしている。生徒理解は専門職としての教員の最も重要な職務の一つである。今後とも個人懇談や日常的な生徒観察を通して、潜在している生徒の不安や悩みも察知し、保護者や関係機関等と緊密に連携して適切な支援が行えるよう努める。

(8) 宇南高では、遅刻や服装・交通安全に関する指導が適切に行われている。



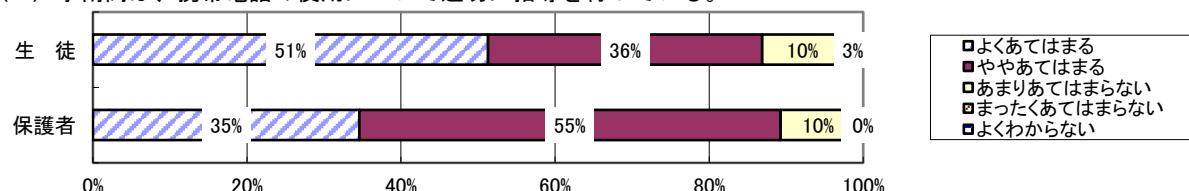
生徒の回答状況は、昨年までと同様に良好である。保護者においても、前回調査では17%だった否定的評価が大きく減り、この質問項目では改善傾向を示している。交通安全では、昨年度多発した主に自転車での交通事故件数が本年度は減少している。しかしながら、本校生徒の交通マナーに関しては依然として保護者や地域住民等から改善の指摘が寄せられていることから、今後も継続して指導の徹底に努める。

(15) 宇南高では、いじめ防止対策が適切に機能している。



生徒については、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同じ結果であったが、保護者については、肯定的評価の割合が50%から86%へ有意に増加した。いじめはきわめて重大な人権問題であるという認識を教職員が共有し、いじめアンケートを毎月実施するなど防止対策システムの充実にも努めているが、それに加え、生徒への声かけや言動への目配りなど恒常的な指導の充実はもとより、関係諸機関との緊密な連携を強化していく。

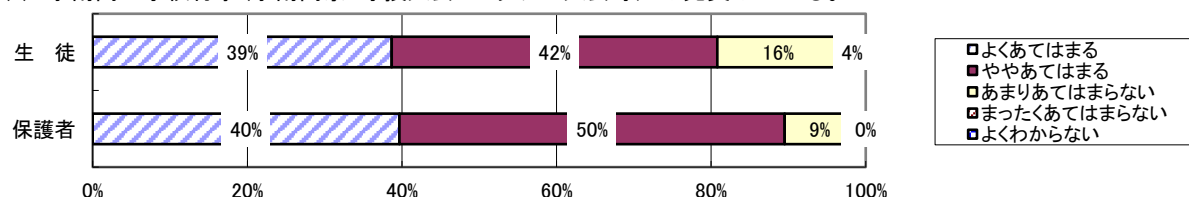
(14) 宇南高は、携帯電話の使用について適切に指導を行っている。



生徒については、肯定的評価、否定的評価ともに昨年度とほぼ同様の結果であったが、「よくあてはまる」という回答が56%から51%にやや減少した。保護者については、肯定的評価が76%から90%に増加しているものの、中には「よくわからない」に近い回答も含まれていると思われる。携帯電話とスマホについてはマナーだけでなくその機能性の多様さも相まって適切な使用の必要性が一層求められている。マナー遵守とSNS全般の健全使用について保護者と共通理解を図りながら引き続き指導の徹底を図る必要がある。

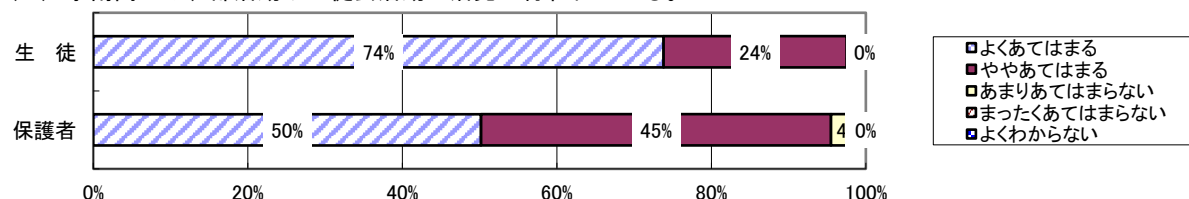
E 学校行事・部活動について

(9) 宇南高の学校行事(宇南高祭・球技大会・マラソン大会等)は充実している。



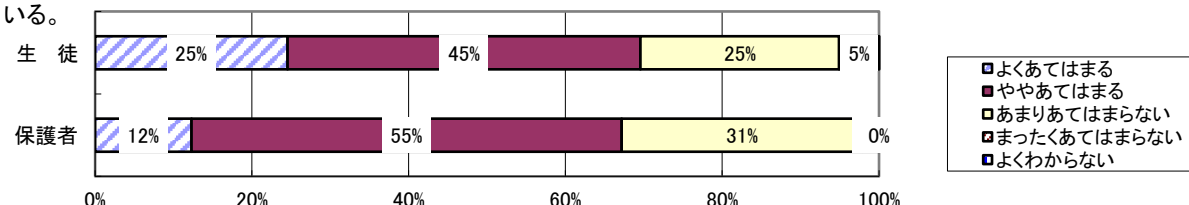
生徒の回答状況は昨年度までと大きく変わらない。本質問項目では、他項目の回答状況とは異なり、否定的評価の割合が保護者の回答結果よりも生徒の回答において高い数値を示している。すなわち、一定数の少なからぬ生徒が本校の学校行事の在り方に不満あるいは改善意見を持っている。今年度、学校行事は生徒会が中心となり新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で変更を加えて実施したが、今後も生徒の改善意見を参考にし、行事の在り方と精選に踏み込んだ改善策を検討する必要がある。

(10) 宇南高では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。



本回答は今年度も高評価を維持している。本校の部活動は、運動部、文化部ともに積極的に活動しており、地域においてもその成果は一定の認知を得ている。それが本校の強みであり、また魅力にもなっている。その一方で、生徒会活動に関しては学校として一層の情報発信が必要であり、今後とも活性化のための取組を維持する必要がある。

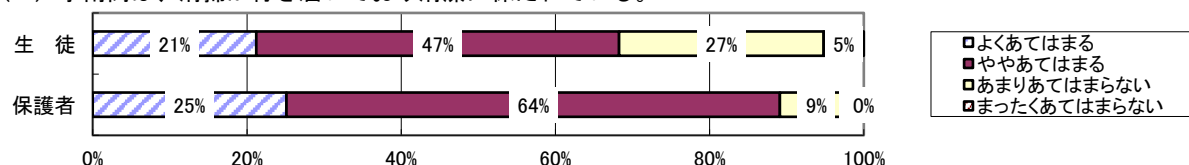
(16) 宇南高では、地域と連携した活動や、国際性を高める活動(インターアクト活動等)を積極的に行っている。



この項目では、コロナ禍にあって低下していた肯定的評価の値が本年度は幾分上向いた。しかしながら、台湾の高校との相互訪問活動(令和4年度は外部の関係機関と連携して実施予定)を筆頭に、本校の目玉であった国際交流事業が半ば滞っていた状況では、評価結果の大きな改善は見込めないかもしれない。その一方で、雀宮地区等の地域社会の諸行事が復活しつつあり、こうした機会に積極的に活動する本校生の活躍への期待に応えなくてはならない。

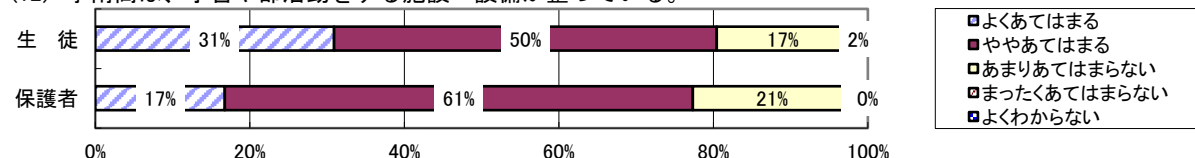
F 環境・施設について

(11) 宇南高は、清掃が行き届いており清潔に保たれている。



生徒の回答では、肯定的評価が昨年度より上昇した。また、保護者の評価でも「よくあてはまる」の数値が昨年の17%から明らかに改善している。これは昨年度末から今年5月にかけて、施設面で普通教室棟トイレが改修されたことが大きいと思われる。しかしながら、回答を寄せた生徒の約3分の1近くが清掃活動の成果には否定的な見方をしている。凡事の一つながら、清掃活動は本校生徒に求められる主体性や利他性を育む大切な日々の教育活動であることを教職員が再認識して改善に努めなければならない。

(12) 宇南高は、学習や部活動をする施設・設備が整っている。

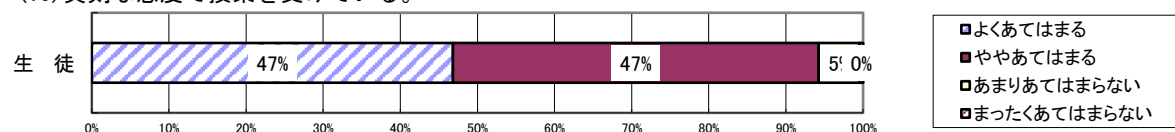


トイレが一部改修されたとはいえ、その他の老朽化した施設・設備に対する生徒と保護者の不満は大きい。様々な不備は視覚化されるだけになおさらであろう。本校としても限られた予算の中、県との調整を図りながら一步一步改善していく必要がある。

(2) 生徒だけへの質問項目

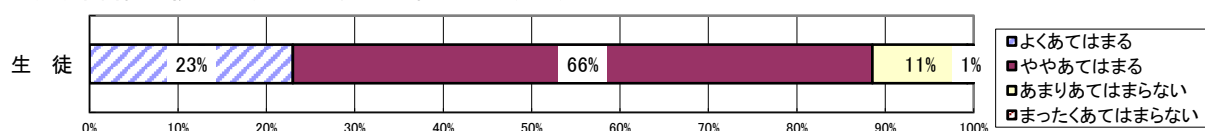
G 自分自身について

(15) 真剣な態度で授業を受けている。



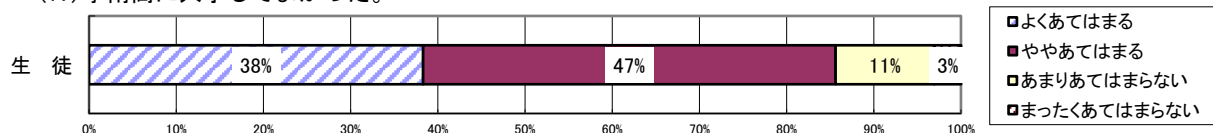
肯定的評価は、昨年度の97%から94%に微減したものの、生徒の授業に取り組む意識自体は高いことがわかる。授業は学校の教育活動の中心であり、真剣に取り組むことが何より重要であるが、授業をさらに充実させるために、予習・復習等の家庭学習にも意欲的に取り組める生徒の育成が喫緊の課題である。

(16) 宇南高の授業の教え方や説明はわかりやすい。



昨年度とほぼ同様の結果である。今後の教育改革、入試改革に対応すべく、わかりやすい授業を心がけ、生徒の興味関心を喚起し、主体性を引き出すことができるよう引き続き研修に励み、授業改善に取り組む。

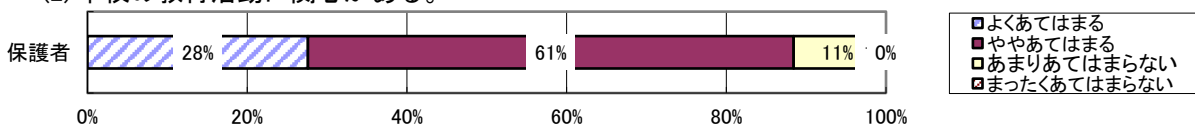
(17) 宇南高に入学してよかった。



この項目については、肯定的評価は過去三年間の調査では上昇し続けていた(72%⇒81%⇒87%)が、本年度はわずかながら減少に転じた。したがって、否定的評価は昨年度の12%から14%に微増している。学習・進路・部活動・友人関係等、要因は複合的であるが、今後も学校の教育活動、指導体制のさらなる改善に向け、各部・各学年が連携を図り、よりよい学校づくりに取り組み、学校の魅力をさらに高めていく必要がある。

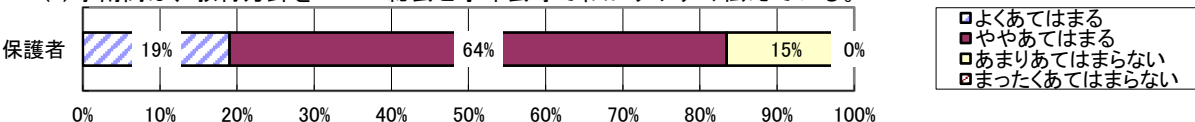
(3) 保護者だけへの質問項目

(2) 本校の教育活動に関心がある。



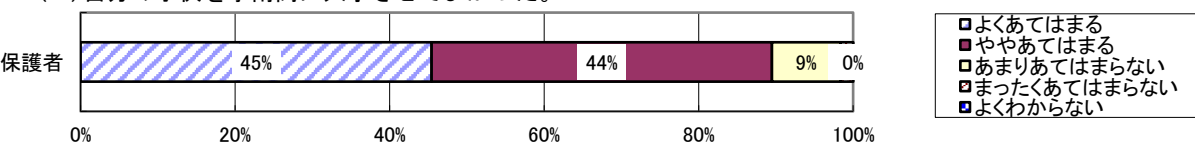
肯定的評価は昨年度の79%から89%へと向上したものの、これには「よくわからない」という回答も含まれると思われる。しかしながら、コロナ禍で制限されてきた本校の教育活動を保護者等の方々に参観いただく機会が、本年度は条件付きながら復活しつつあることが評価に反映されたとも言える。いずれにせよ、本校の教育活動をより一層充実させ、保護者の関心をさらに高めるよう努める。

(3) 宇南高は、教育方針をPTA総会と学年会等でわかりやすく伝えている。



昨年度と比較すると、否定的評価は20%から16%に減少したものの、いまだ少なからぬ数の保護者から改善の余地ありとの指摘を受けているのが現状である。PTA諸活動のみならず、学校ホームページの一層の充実を通して、本校の特色ある教育方針及び教育活動に関する情報発信にさらに努める。

(17) 自分の子供を宇南高に入学させてよかった。



昨年度は肯定的評価が減少し、やや低い値(83%)であったが、今回は89%にまで回復している。今後も教職員一丸となって教育活動を充実させ、本校の教育力をさらに高めるよう努めるとともに、教育活動の様々な場面で保護者との連携強化を図り、学校と家庭双方で、生徒の健全育成に努める。